

《広報部会》 部会長 成山 照代 (青山)

この度、部会長を務めさせていただくことになり、大変な重責を感じているところです。広報部会は、3期目を迎えました。年3回発行されている『おおつ民児協連だより』は、民生委員児童委員・主任児童委員の私たちのために創刊された広報誌です。栄えある創刊号は2014年4月に第1号として発行されました。最初に立ち上げた時から津田会長をはじめ、当時の部会員の皆さまのご尽力・ご努力により大切に育て上げられた『おおつ民児協だより』です。



今期も創刊当時の精神、「私たち委員を繋ぐツール」になることを願っております。私たちが、地域活動で日々努力する中、必要性を感じるのは自己研鑽です。657名の民生委員児童委員・主任児童委員の日々の委員活動に、微力ながらもお役に立てるような広報誌にと、今期も部会員一同決意を新たにしているところです。

今後とも皆さまのご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

私たちが広報部会メンバーです

役職	氏名	地区	Photo of the Public Relations Committee members.
部会長	成山 照代	青山	
副部会長	小澤 準美	和邇	
	渡邊 尚美	小野	
	佐竹 扶佐	雄琴	
	上田 建治	唐崎	
	平尾 信和	田上	
編集委員	西脇 繁和	南郷	

個人情報の取扱いにご注意ください！

私たち民生委員児童委員は、居住者情報や高齢者・障害者の情報など、多くの個人情報を接しています。

委員の皆様におかれましては、情報の取り扱いや管理に留意されますように、また台帳を持ち歩いたりコピーされることは絶対に避けられますよう、ご注意ください。

★編集後記★ 本号民児協連だよりでは、専門部会についてご紹介しました。民生委員児童委員・主任児童委員はそれぞれ、高齢者部会、障害者部会、生活支援部会、主任児童委員部会のいずれかに部会員として所属し、専門的な分野でのテーマについて研修会や視察を通じて研鑽を積みます。その内容は地区民児協に持ち帰り、他の委員の皆さん方に報告していただきます。専門部会には、新任の委員さん、部会員以外の方も、都度、自由に参加することができますので、希望の専門部会の案内があれば、積極的に参加されることをお勧めします。(唐崎地区 上田)

おおつ民児協連だより

第17号 2020年3月
発行者: 大津市民児協連
会長 津田 洋子

ごあいさつ

大津市民生委員児童委員協議会連合会 会長 津田 洋子



令和2年を迎えるやう3ヶ月が経ち、地区民児協におかれましては、改選後の新体制で活動されることと存じます。去る12月理事会におきまして選任され、昨年に続き会長を務めさせていただく事になりました。微力ではございますが、原点回帰を心にとめ、重責を担わせていただく所存です。引き続きご支援ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

2025年問題、8050問題、引きこもり、虐待など私たちが関わる事例はますます複雑化し多様化しています。このような社会で、民生委員が住民の方の問題に全て気づき、把握することは困難であり、近隣の住民同士、関係団体が見守り合う地域共生社会の構築が求められています。大津市の36地区民児協が、見守り合う地域社会の支援ネットワークのキーマンとなることを目指したいと思います。

昨秋から日本各地で震度4規模の地震が起こっていますが、琵琶湖西岸断層の発生確率は「Sランク」であり30年以内にM7.1～7.6の地震が起こる確率は1～3%と発表されており、36学区がその地域の特性に合わせた災害時要支援対策を具体化することが、早急に取りかかる課題であると思います。日常的見守り活動の基点であるネットワーク台帳の災害時支援対策への活用を目指します。

次期民生委員児童委員一斉改選は委員の高齢化により、昨年以上に厳しい状態が予想されます。より円滑な改選の取り組みに備えて、今から学区自治連、学区社協、行政、地区民児協が連携し改選に備えていかなければと考えています。民生委員がやりがいを持って、生き生きと活動する姿が住民の方々に伝わり次期改選の良い影響となりますよう願っております。

今年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

大津市民生委員児童委員協議会連合会 役員

役職	氏名	地区	Photo of the Executive Committee members.
会長	津田 洋子	真野北	
副会長	土永 正宏	小松	
	宮沢 武	坂本	
	佐敷 靖夫	山中比叡平	
	山川 すゑ子	南郷	
	成山 照代	青山	
会計理事	伊東 豊	富士見	
顧問	呉屋 之保	日吉台	
参与	谷本 みちの	瀬田	
監事	岩吹 玉子	唐崎	
	瀬古 健一	石山	

大津市民生委員児童委員協議会連合会 組織図



地区民生委員児童委員協議会（36地区・657名）

各専門部会の紹介

《高齢者部会》 部会長 福田 正彦(逢坂)

この度、地区会長様4名と3年間高齢者部会を運営させていただくこととなりました。高齢化が進む今日、皆さまの担当地区におきましても、高齢者に関する多くの課題が有るのではないかでしょうか。大津市の統計によりますと、65歳以上の方が平成31年当初には人口比26.2%、約9万人となり、うち要支援・要介護者数も1万6千名を超えております。今後、医療や食生活・生活環境の改善により、寿命100歳時代が到来すると言われはじめておりますが、健康寿命も同時に伸びることが大切だと思います。

私たち民生委員児童委員が、高齢者の生活に関する相談をお聴きした場合、どのように対応すれば良いのか、悩むことが多くあると思います。高齢化時代を迎えた今、高齢者部会では民生委員児童委員が、地域の方々の悩み事に対して適切な対応方法を考えるために様々な社会資源の有効活用方法を知り、相談者に対し適切な組織への繋ぎを行い、高齢者が安心して健康な生活を送っていただけるよう、研修に努めたいと思います。

《障害者部会》 部会長 田中 弘道(堅田)

この度、障害者部会長お受けすることになりました。部会員様はじめ皆さまどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年の研修で2人の障害をお持ちの方からの講演を聴き、改めて知らなかったことがあり驚きました。障害をお持ちの方々が暮らすうえで、周りのことや地域のことなど、私たちが気づかないことが多くありました。

今年1月8日「津久井やまゆり園」の初公判がありました。多くの障害者の命を奪ったこの事件を、ある作家は被告がこのような考え方を持つようになった背景を、社会に古くからある差別意識の考え方から出てきていると指摘しています。これから社会が障害者と共に生きる社会とするには、↗

まだまだ私たちの心に潜む差別意識を克服することが大事だと考えます。

部会では民生委員児童委員として障害者に少しでも寄り添い、支援できるよう、研修を通じて深めていくよう努力したいと思います。

《児童部会》 部会長 山中 久代(伊香立)

引き続き部会の代表を務めさせていただきます。部会の皆さまの悩みや疑問を出し合いながら、日々の活動に活かせる研修にしたいと願っています。ご協力ををお願いします。

過去3年間では、主任児童委員と児童委員の役割の違いや、児童委員としての活動について研修を進めてきました。その中で、子ども達の日常を知る活動や、子ども達と仲良くなる活動が大切であることを学びました。主任児童委員さんとの連携のあり方や研修運営についてなどが課題や反省として残りました。

いじめに合い悲しむ児童、不登校でもがき苦しむ児童、居場所がなく寂しい思いをしている児童などに寄り添えるよう、まずは子ども達の生活全般に目を向け、実態を知り、多くの子どもと仲良くなることを今期の目標に挙げました。さらに、主任児童委員との連携を大切にし、課題を共有して活動できればと考えています。

《生活支援部会》 部会長 森本 忠雄(下阪本)

この度、4名の地区会長様と生活支援部会を運営させていただくこととなりました。よろしくお願いいたします。

この度の一斉改選を機に、この部会は「生活支援部会」と名称が変更され、取り扱うテーマについても見直しがされました。「生活困窮者支援、就労支援、若者支援、ひきこもり支援、生活保護制度等に関すること」と、近年ますます複雑多様化する地域の課題や、生活支援全般に広がったテーマを部会で取り上げ、委員の方々の日常の活動に役立つ研修等を企画したいと思います。

生活支援部会の役員が力を合わせて頑張りますので、皆さまのご協力をよろしくお願ひいたします

《主任児童部会》 部会長 中井 洋子(木戸)

この度、部会長を務めさせていただくことになりました。重責ではございますが、部会員 64 名の皆さんとともに研修活動を充実させて参りたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い申上げます。

令和の時代においても、子どもの育ちや子育ての様々な課題が山積し、ますます深刻化の一途をたどっています。社会情勢の変容に翻弄されることなく、日々の温かい言葉かけや、地道で安心安全な見守り活動による小さな気配り・心配りの積み重ねこそが健やかに子育ち子育てができる地域づくりの一助になると考えます。地域と福祉、地域と子育ち子育ての活動の重要性を学び、何をどうするか等、研修や情報交換の場を通して、互いに切磋琢磨しあう部会活動に努めたいと思います。

「身近な大人」「地域の子育て応援団」として、子ども達の思いに寄り添える活動を目指します。皆さまのご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。